

「日本紅斑熱」に注意しましょう!

1. 野山には「リケッチア」という病原体を保有する(数パーセントが保有) マダニが生息しています。病原体を保有するマダニに刺された後1週間前後で「日本紅斑熱」という病気を発症することがあります。
 2. 伊勢保健所管内では年間 30 ~ 40 件程度の日本紅斑熱が報告されています。
 3. 多くは春から秋にかけて(まれに冬にも) 発生します。
 4. マダニに刺されたことに気付かず発症するかたもいます。
 5. 流行時期に次の症状があれば直ちに医療機関を受診しましょう。
マダニに刺された可能性があるかたは進んで医師に伝えましょう。
- ※人から人に感染することはありません。

日本紅斑熱の 症状

体がだるい・高熱・頭痛・筋肉痛・痒みや痛みのない
全身に広がる多発性の発疹



日本紅斑熱の発疹
(痒くないのが特徴的)



← 刺し口

※発疹および刺し口の画像提供：伊勢赤十字病院

野山に立ち入る際の注意事項(マダニに刺されないことが大切)

1. 肌をださないよう、長袖、長ズボン、手袋などを着用しましょう。
2. DEET(ディート) という成分を含む虫除け剤を使うことも補助的な効果があるといわれています。
3. 野山に立ち入った後は、家の外で服や体をはたき、マダニを落としましょう。
4. 野山に立ち入った衣服は、すぐに洗濯するか、洗濯するまでビニール袋などに入れて密封し保管しましょう。
5. できるだけ早くシャワーを浴びましょう。その際、マダニに刺されていないか全身(特に頭髮部、首、脇の下、脇腹、足の付け根、膝の裏など)を確認しましょう。



← 若虫



← 吸血前の成虫



← 吸血後の成虫

※フタトゲチマダニの画像(つま楊枝との比較)：三重県保健環境研究所

マダニに刺された時の注意事項(マダニをつぶさないことが大切!)

1. 自分で取る時は、ワセリンなどでマダニと刺された部分を覆い約 30 分間放置後、ガーゼや布などでマダニの頭側から拭き取ってください。
2. それでも取れない時は、マダニをつぶさないように頭部をピンセットでつまんで、慎重に取り除きましょう。
3. 自分で取れない時は、無理に取らずに最寄りの医療機関に相談しましょう。

【問合せ先】 伊勢市勢田町 628-2 三重県伊勢保健所 保健衛生室 健康増進課

☎ 0596 (27) 5137 FAX 0596 (27) 5253

伊勢赤十字病院、三重県保健環境研究所